



# おかげさまで 2011年度グローバル学生交流も大成功！！

グローバル学生交流とは…

山口県立大学が、学術交流協定を締結している中国・曲阜師範大学、韓国・慶南大学校から学生を招請し、学内外の交流を図りながら学生、さらには地域の国際化に向けて実施している事業です。

毎年6月末～7月の約3週間にわたり開催。今年度は6月25日～7月16日まで留学生が山口に滞在し、さまざまな方と交流を深めました。

→P.2～P.3で特集！



本学の国際化推進においては平素より大変お世話になっております。おかげさまで前期の国際交流事業を無事に終了させ、大きな成果を上げることができました。

学生交流においては、短期留学生をこれまでで一番多く受け入れ、教員交流においては、社会福祉学部がフィンランド・ラップランド大学教授を受け入れ、学内外の公開レクチャーにたくさんの学生やソーシャル・ワーカーに参加いただき大成功をおさめました。

またグローバル学生交流事業においても、本学の多くの学生や教員が関わり、とても充実した交流ができました。

日本学生支援機構による新たな奨学金を申請し、今年度の本学主催「語学・文化研修」に参加する40名の学生すべてに奨学金を授与することもできました。

そして学長以下本学教職員3名がスペイン・ナバラ州立大学を訪問。今後の教員・学生交流について協議し、来年度以降は両大学間の交流が新たなページを刻むことになりそうです。

さまざまな場面に多くの方々のご参加とご協力があり、大変嬉しく思っております。2011年度後期も数多くの国際交流事業を企画しております。ぜひ学内外の多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

国際化推進室長 シャルコフ ロバート



## ニュースレター目次

- 1 ごあいさつ・目次 ……………<P1>
- 2 2011年度グローバル学生交流事業 ……………<P2・P3>
- 3 山口警察署による、留学生の交通安全指導 ……………<P4>
- 4 ユネスコ・サマーチャレンジスクールに留学生が参加 <P4>
- 5 フィンランド・ラップランド大学、タルヤ教授が来学 …<P4>
- 6 海外語学・文化研修、交換留学派遣出発式 ……………<P4>
- 7 本学訪問団が、スペイン・ナバラ州立大学を訪問 …<P4>
- 8 2011年度夏季海外語学・文化研修 ……………<P5>
- 9 アメリカ・センター大学報告会&帰国報告会 ……………<P5>
- 10 職員向け英語研修を開催 ……………<P6>
- 11 交換留学生(～2011年度前期)が帰国 ……………<P6>
- 12 国際化推進室からのご案内 ……………<P6>



## 2011 年度 グローバル学生交流事業

6月25日から7月16日までの約3週間にわたり、グローバル学生交流が開催されました。地域の方々、学生、教職員ほか、多くの皆さまのご協力のもと、無事終了いたしましたことを、心よりお礼申し上げます。

今年は中国・曲阜師範大学からの留学生8名（+引率職員1名）、韓国・慶南大学校からの留学生10名（+引率職員1名）を受け入れました。

また、本学からは、教養科目「国際交流」履修生、日本語講義担当学生あわせて約150名の学生がプログラムに参加し、各行事の企画・運営をしてくれました。事前準備から当日の進行まで、大変なことがたくさんあったと思いますが、どの行事も留学生たちに喜んでもらえ、大成功に終わりました。

さまざまな場面で、3国の学生が協力しあう頼もしい光景が見られたことも、国際交流の醍醐味です。連絡先等を交換し、今後の交流を約束していた様子も印象的でした。それぞれの中に大切な宝物が残った3週間だったようです。

### 【2011 年度グローバル学生交流のプログラム】→

					6月25日(土)	6月26日(日)
			(午前)	《入国》 曲阜 下関港 【8:30着】	到着後	徳地串地区 地域交流
			昼食		移動	
			(午後)	慶南 下関港 【8:00着】	徳地青少年 自然の家 アイスプレーキング 16:30 宿舎到着	
6月27日(月)	6月28日(火)	6月29日(水)	6月30日(木)	7月1日(金)	7月2日(土)	7月3日(日)
大学歓迎行事 9:30-10:30 オリエンテーション 10:30-12:00	日本語講義 9:00-12:00	日本語講義 9:00-12:00	日本語講義 9:00-12:00	日本語講義 9:00-11:45	市内研修	フリー(宿舎)
プレイスメントテスト 14:30-16:30 キャンパスツアー 歓迎パーティー 18:00~20:00	フリー(宿舎)	学部学科交流 国際文化	中国語・韓国語 授業参観 14:30-16:00	学部学科交流 社会福祉	アーケード、サピ エル教会、ゆめ タウン等 8:30-14:30	
					フリー(宿舎)	
7月4日(月)	7月5日(火)	7月6日(水)	7月7日(木)	7月8日(金)	7月9日(土)	7月10日(日)
日本語講義 9:00-12:00	日本語講義 9:00-12:00	日本語講義 9:00-12:00	日本語講義 9:00-12:00	山口伝承センター 10:00-12:00	ホームステイ	ホームステイ
全学交流 14:00-16:00	日本文化体験 (華道) 14:30-16:00	日本文化体験 (華道) 14:30-16:00	日本文化体験 (華道) 14:30-16:00	フリー ホームステイ 宿舎へ迎え		
7月11日(月)	7月12日(火)	7月13日(水)	7月14日(木)	7月15日(金)	7月16日(土)	
学校訪問 曲阜小学校 【岩国】 9:30~13:35 小学校 給食	日本語講義 9:00-11:45	日本語講義 9:00-12:00	フリー(宿舎)	スピーチコンテスト 9:30-11:30 修了式 11:30-12:00	《出国》 曲阜 下関港 【12:00発】	
観光 14:30~16:30 【錦帯橋他】	企業訪問 マツダ工場見学 13:30-15:00	学部学科交流 看護栄養		フリー 送別パーティー 18:00-20:00	慶南 下関港 【12:00発】	

#### ■歓迎パーティー

韓国・中国の学生が出し物を披露。



#### ■徳地・串地域交流

柏餅づくりに挑戦！



#### ■日本語講義

初級・中級クラスに分かれて。



#### ■日本文化体験（華道）

それぞれの個性が光っていました。



#### ■日本文化体験（着物）

浴衣でおめかし。ハイチーズ！



#### ■全学交流

初めてのカルタ遊び。楽しい！



#### ■学部学科交流（看護栄養）

聴診器で心音を聞いてみました。



#### ■岩国市立由宇小学校訪問

かわいい小学生たちに囲まれて。



#### ■送別パーティー

いよいよお別れ。また来てね！



## ～スピーチコンテストより～



### 初級の部:最優秀賞 齐 乐(サイ ラク) 曲阜師範大学

日本に来る前に、私は船でずっと緊張していました。日本はどんな国だろうと考えていました。日本の色々な文化に興味がありました。だから、日本に来て体験しました。

3週間は早かったです。私たちは毎日楽しく過ごしてきました。今、「ホームステイ」の時間が一番懐かしいです。

お父さんとお母さんは優しく、親切な人です。初めて会った時、夫婦とも若そうでした。私はその夫婦の日本語が少し分かりました。でもお父さんとお母さんはよく「頑張ってる」と言ってくれました。今ではたくさんの日本語が分かるようになりました。

先週の日曜日、私たちは車で秋吉台へ行きました。秋吉台の景色はとてもきれいでした。青い空の下、森が鮮やかな色に染まっていました。湖が鏡のように澄んでいました。私たちは一緒に公園を散歩しながら話をしました。そして山を背景に記念写真を撮りました。その時、日本は大自然のような所だと感じました。本当に幸せな秋吉台への旅でした。その2日間、お父さんとお母さんのおかげで、日本人の生活に慣れ、日本の美しい所を見て、楽しかったです。

もしチャンスがあったら、ぜひ日本にもう一回来たいです。日本人の生活習慣を勉強しようと思います。



グローバル学生交流の集大成「スピーチコンテスト」では、それぞれが3週間の思い出や、自分の思いを聞かせてくれました。一部ではありますがご紹介します。



### 中級の部:最優秀賞 金(キム) ハングル 慶南大学校

日本に来てわくわくしていたことが数日前のようで、今この3週間の感想を言っているのが信じられません。

山口は私にとっては初めての外国です。山口は方言がたくさんあるので、山口のともだちが私に「方言がうつつたらわやや」と言ってきました。しかし私はほんとうに日本に行きたかったので、方言があってもなくても日本にいただけで幸せでした。

道を歩いている時、人にぶつかる、その人は「チェーソンハムニダ」じゃなくて「すみません」、コンビニへ行く時も「オソオセヨ」じゃなくて「いらっしやいませ」。もちろん「ぶちえらい」とか「べんきょうしちよる。でもぜんぜんわからん」という方言もいっしょにつかっていたのですが、方言でも日本語の一部なので、毎日がべんきょうでした。

ここ山口に来て得たことはたくさんあります。

まず、山口県立大学の全在校生と知り合いになりました。毎日、ひるごはんの時、正門から食堂まであいさつするのに1時間ぐらいかかります。めっちゃやばいです。県大生の全員が私のともだちです。

つぎは経験です。壮大にひびきわたるオルガンの音がいんしょうてきだったサビエル教会や、とてもきれいで買ってかえりたかった、浴衣を着る体験、世界文化遺産の宮島など、日本でなければ感じられない多くのことを見て、まなぶことができてよかったです。韓国にかえってしましなきゃいけない。

さいごはあたらしい家族です。今回、ホームステイで会った家族と2泊3日のみじかい間に、本当の家族になりました。とてもおいしいたべものをつくってくれるし、あついかどうかしんぱいしてくれました。今でも心に残

っているのは、その家の2歳のあすかちゃんです。はじめて会った時ははずかしそうでしたが、わかるる直前に私の手をつなぎながら「ハンちゃん」と呼んでくれました。その時、心があたたかくなって「日本にも私の家族ができた」と思いました。日本が私にプレゼントをくれました。

このように、日本でほんとうにたくさんいろいろなものをもらって、とても幸せです。他の学校に行こうと思っていただけ、また山口に交換留学に行きたくなくなりました。山口にまた来るために、韓国にかえっていっしょうけんめいがんばります。



#### 【スピーチコンテスト結果】



##### 初級の部

- ★最優秀賞  
サイ ラク (曲阜師範大学)
- ★優秀賞  
ラン アギョウ (曲阜師範大学)
- ★ユニーク賞  
パク ウンス (慶南大学校)
- ★審査員特別賞  
コ ソジン (慶南大学校)

##### 中級の部

- ★最優秀賞  
キム ハングル (慶南大学校)
- ★優秀賞  
キン キョクキョク (曲阜師範大学)
- ★ユニーク賞  
キム ミヒョン (慶南大学校)
- ★審査員特別賞  
レイ ヨウ (曲阜師範大学)



## YPU 学生の声 ～グローバル学生交流に参加して～

- ・1泊をともに過ごしたので、仲が深まった。
- ・国際交流の大切さを感じた。もっと交流したいと思うようになった。
- ・言葉が通じなくても気持ちは通じると思った。
- ・留学してみたくなった。中国、韓国に行ってみたいと思うようになった。
- ・自分から話しかけようとする姿勢が身に付いた。積極的になれた。
- ・いろいろな考えを持つ人がいることを楽しめた。
- ・他国の文化に大変興味を持った。外国人を身近に感じるようになった。
- ・何か計画を立てて実行する力がついた。



## 山口警察署による、留学生の交通安全・防犯指導

6月8日、山口警察署・交通課より、留学生の交通安全・防犯指導に来ていただきました。

留学生たちは実際に自分の自転車で、安全な乗り方を教わったり、曲がり角での一旦停止など、交通ルールの指導を受けました。また戸締まりや夜間の注意など防犯についても話をいただきました。

長期留学生の王溥麟（オウフリン）さんは「日本の交通ルールは自分なりに理解していましたが、警察の方から直接お話を聞き、確認することができました。防犯についても、今後も気をつけたいと思います」と感想を聞かせてくれました。



## ユネスコ・サマーチャレンジスクールに留学生が参加。

7月28・29日、防府ユネスコ協会主催による「ユネスコ・サマーチャレンジスクール」が開催されました（国立徳地青少年自然の家にて）。これは防府市全域の小学校から小学生を募集し、ユネスコについて学ぶとともに、野外活動等を通して交流を深める夏休みのイベント。

このイベント中の『様々な国の人と触れ合おう』というコーナーに、本学留学生の魏宏洋さん（中国）と金東炯さん（韓国）が参加。約50名の小学生を前に自国の遊びを紹介するなど、交流を深めました。帰る頃には2人から小学生たちが離れなくなるほどとても慕われ、後ろ髪を引かれる思いで徳地を後にしました。



## ラップランド大学・タルヤ教授が来学されました。

6月10日～17日、学術交流協定大学であるフィンランド・ラップランド大学から、タルヤ・オルヤスニエミ教授が来学されました。タルヤ教授は、社会科学部ソーシャルワーク学科に所属されており、アルコール依存症患者へのソーシャルワークや国際比較研究がご専門です。

期間中は、①社会福祉学部1年次生を対象とした「北欧型福祉社会について」の講義（参加者120名）、②社会福祉学部3年次生を対象とした「フィンランドのソーシャルワーク教育」（参加者110名）、③地域のアルコール依存に関わる専門職（精神保健福祉士・医師・看護師・専門学生）等を対象とした「フィンランドにおけるアルコール依存問題と治療」（参加者70名）、④大学院健康福祉学研究科の院生ならびに教員を対象とした研究会への参加（参加者20名）と、大変精力的に活躍されました。

特筆すべきは③の地域の保健・医療・福祉の専門職との交流研修会を、山口でアルコール依存専門病院として有名な高嶺病院で開催したことです。県立大学の国際的な学術交流活動が、山口県の専門領域における世界への窓としての役割をも担うことができるという新たな途が示されたものと思われま



報告／加登田 恵子

## 海外語学・文化研修、交換留学派遣出発式を開催。

7月26日、平成23年度「夏季海外語学・文化研修」29名及び、「交換留学生」8名、「日本語TA」2名の派遣出発式を開催しました。

出発式では、江里健輔学長からの激励の言葉を、皆が真剣な眼差しで受け止めていました。また学長より、学生それぞれに派遣証書が授与されました。

ビショップス大学へ留学する田邊彩華さん（栄養学科4年）は、「留学先では語学力の向上と国際感覚の習得、留学することでしかできないことをしっかり学びたい」と決意表明をしました。



### 【研修・交換留学の日程】

■夏季海外語学・文化研修  
※研修済。右頁にて報告。

### ■交換留学

- \*カナダ・ビショップス大学（留学3名、TA1名）  
派遣期間／2011.9～2012.4
- \*フィンランド・ラップランド大学（留学3名）  
派遣期間／2011.9～2012.5
- \*アメリカ・センター大学（留学1名、TA1名）  
派遣期間／2011.9～2012.5
- \*スペイン・ナバラ州立大学（留学1名）  
派遣期間／2011.9～2012.6

## 本学訪問団が、スペイン・ナバラ州立大学を訪問しました。



対談するナバラ州立大学・ロペス学長と本学・江里健輔学長

9月3日～9月9日、本学学長を団長とし、以下教職員3名が学術交流協定大学であるスペイン・ナバラ州立大学を公式訪問。今後の学生交流の発展と教員交流および共同研究の可能性について協議しました。

ナバラ州立大学では、学長との懇談、ナバラ州の概要およびナバラ州立大学について説明を受けた後、図書館や語学教育センターなど広いキャンパスを見学しました。

人文学部社会福祉学科、教育学科、健康科学部看護学科、工学部においては、実質的な学生交流の発展と教員の学術交流テーマなどについても意見交換しました。特に教員交流の次年度実現に向け、すでに協議を始められたことは大きな成果です。

また、山口県と姉妹提携しているナバラ州報道官兼文化・観光・渉外大臣との懇談、山口市と姉妹友好都市のパンプローナ市長との懇談も実現しました。

報告／太田 友子



## 2011 年度夏季海外語学・文化研修 <韓国・中国・カナダ>

### ■韓国研修【慶南大学校】

2011年8月6日～8月26日

参加学生：10名

引率：梶 建次 主査（国際化推進室）



### ■中国研修【曲阜師範大学】

2011年8月27日～9月21日

参加学生：9名

引率：馬 鳳如 教授（国際文化学科）



### ■カナダ研修【ビショップス大学】

2011年9月3日～9月26日

参加学生：10名

引率：梶 建次 主査（国際化推進室）



..... 松原菜摘（看護栄養学部栄養学科2年）

私は、この3週間韓国で過ごす前までは韓国語も韓国の文化についてもよく知らなかった。しかし、3週間生活してみて日本との違いを見つけたり、韓国の食や文化にたくさん触れて韓国について興味を持ち、韓国のことがとても好きになった。担当してくれたトウミ（チューター）のおかげで全く知らない土地での生活も楽しく過ごすことができたし、韓国について本当にたくさんのことを学ぶことができた。また、この Global Hanma には香港、台湾、ロシア、中国などいろいろな国と地域の学生が参加していたので色々な国の友達を作ることができた。その中で、自分の語学力不足に気づくことができた。そして、積極的に話しかけたり挨拶をしたり一緒にスポーツをしたりすることで言葉の壁は多少あっても他の国の人と仲良くなることができると分かった。

Global Hanma で国際交流をすることでたくさんのことを学べた。これから、自分の語学力を上げるために勉強をし、また外国に行ってその国の人と交流したい。

..... 木村芽依（国際文化学部国際文化学科2年）

参加前は中国に1年間留学したいとは全く考えていなかった。しかし今回研修に参加してみて、中国について少し知ることができた。中国語の力も少しではあるが成長したと思う。もっと深く中国語を知りたい、中国語を勉強したいと考えるようになった。今は中国への1年間の留学を真剣に考えている。

そして大学入学当初から「日本語TAとして留学できたらいいな」と漠然と考えていたが、語学研修を終えてもう一度考え直し、「日本語TAで留学しよう」と決めることができた。中国で日本語を勉強している学生に「私の発音を直して」と頼まれ、一緒に練習するとだんだんと上手になっていき、とてもうれしそうだった。新しい日本語を教えてあげると、とても喜んでくれた。それがとてもうれしくて、「日本語を学びたいと思っている人の力になりたい」と思った。

これから、中国への1年間の留学と、日本語TAの留学を目指して、語学・文化・歴史など、さまざまな勉強を頑張っていきたいと思う。

..... 池本朱里（国際文化学部国際文化学科2年）

今回の研修で多くのことを学んだ。まず、留学するのは怖くないということ。今回は3週間という短期コースであったが、1年分くらいの収穫があったように感じた。次に、人に言われたことをきっちりこなすだけでは駄目だということ。普段から人前で発言することが苦手で、わからないこともそのままにするか、人任せにしていた。しかし留学では、学校もホームステイでもわからないことだらけで、自分から聞かざるを得なかった。日本語ならば聞きたいことも聞けるが、英語となると頭の中で単語を思い出して、文章に組み立てて話さなければならない。私にとって難しいことであったが、避けていたら何もできなかったため自分から積極的に聞くことができるようになった。最後に、国が違えば文化も当然違うということ。当たり前であるが、実際にカルチャーショックを体験することで、異文化に深く興味を持つようになった。今後は自分から積極的に多国籍の人と関わり、自分の肌でもっと多くのことを体験するため、また留学することを目標に精一杯頑張りたい。



## センター大学報告会&帰国報告会

（交換留学・研修・日本語TA）

【センター大学帰国報告会／8月4日】

学術交流事業の一環として、本年度3月9日～19日までアメリカ・センター大学に派遣した今村主税講師（共通教育機構）は、日本の環境問題や本学のEA21などの取り組みについて、センター大学で6回にわたり講義。その様子を報告していただきました。

また、現役学生では初めて、日本語TAとしてセンター大学に留学した香月静佳さん（国際文化学科4年）は、TAの苦労話や工夫を凝らして学生に日本語を教えたことなどを披露してくれました。

【帰国報告会（交換留学、海外語学・文化研修、日本語TA）／10月3日】

今年度帰国学生による報告会を行いました。それぞれの報告を熱心に聞いていた会場の学生からもさまざまな質問が飛び交い、会場は大いに盛り上がりを見せました。





## 職員向け英語研修を開催しました。

本学非常勤講師のアンドリュー・セネック氏を指導者としてむかえ、「職員向け英語研修」を開催しました。

『職場で必要な英語及び職業に関する英語力』の向上に向けて4つのテーマを設け、8月～10月にわたり8回の講義を開講（各テーマ2回ずつ）。延べ60名の職員、教員が参加しました。

4つのテーマは、①学生やお客さんを歓迎する（初めて人に会うための自己紹介、自分の職業についての説明）、②人間関係をつくる（簡単な会話、個人情報についての質問、情報確認）、③問題を解決する（相談、アドバイス、苦情対応）、④実践練習。後期から英語圏の交換留学生をむかえ、研修で学んだ英会話をさっそく使ってくださいました。

後期には昨年度に引き続き、教職員・大学院生向け英語研修も企画しています。どうぞご期待ください！



## 交換留学生（～2011年度前期）が帰国。

### ■送別パーティーを行いました！

交換留学生4名が、2011年度前期をもって帰国しました。

7月25日には、国際文化学部会議室にて送別パーティーを行い、江里学長、三島副学長、小田副理事長ほか、ホストファミリー、ご近所の方々、本学学生、教職員が約40名集まり、帰国する留学生たちと楽しい時間を過ごしました。

学生チューターからは、ぎっしり思いのつまった色紙をプレゼントされ、留学生はとても感激していました。



### 【2011年度前期で帰国した留学生】

※写真左から

2010.10～2011.9 留学

◆田 豊（中国・曲阜師範大学）

◆マーク・アンドレ セベルジ  
（カナダ・ビショップス大学）

◆章 鵬飛（中国・曲阜師範大学）

2011.4～2011.9 留学

◆ティ・ロン ドウ

（カナダ・ビショップス大学）

### ■ティ・ロン ドウ

I have to say that when I first arrived in Yamaguchi I was totally lost. I did not know where to go to buy food and other basic goods.

I also had a difficult time communicating with everyone around me. However, the international office, the students and teachers were very kind and helped me a lot. After a week or two, I was able to find my way around town and I was more at ease communicating with others.

Yamaguchi is a beautiful and peaceful city. Even though it is small and in the countryside, there was always something for me to do. I personally enjoyed biking around town and jogging along the river. While attending YPU, I took many fun and interesting courses. I learned a lot about Japanese history and culture. Also, since many of the assignments required team work, I often worked with Japanese students and was able to improve my Japanese speaking skill.

My experience in Yamaguchi as a whole was amazing. The people, the place, everything was just great. I am very grateful to everyone whom I have met. They made me feel at home. They made my stay in Yamaguchi a wonderful experience.

### ■マーク・アンドレ セベルジ

この留学でお世話してくださった方々に感謝します。とても素晴らしかった。もう一年過ぎて信じられない。

日本に来る前あまり日本語が話せませんでした。この留学で一步一步上手になったと思います。最後の学期は、アジア文化論、日本語音声学など日本語のみの授業を履修しました。専門用語が飛び交い、難しい漢字をいくつも覚えなければいけなくて、授業についていくのはとても大変でした。特に、レポートを何ページも日本語で書かなければいけないのは一番の挑戦でした。しかし、無事に単位を貰うことが出来ました。

大きな挑戦は他にもあって、それは国際理解の授業で短い動画を作成したことです。たった5分ほどのものですが、何時間もかけて作り上げました。動画作成を通して、映画作成に興味を湧くようになり、自分が将来やりたいことの一つになりました。他にも茶道、地域実習などたくさんの興味深い授業を履修し、日本の文化について学ぶことも出来ました。

机上の学びに留まりません。奨学金をいただき旅行をして生きた日本文化に触れました。また、5つのサークルにも参加し、たくさんの出会いがありました。国際文化の学生以外にも他学部の学生と知り合えました。

カナダに帰るにあたり、物理的な物を持って帰るだけでなく、コミュニケーション力や異文化に寛容な気持ちや困難に打ち勝つ気持ちをお土産として持って帰りたいと考えています。

### 【国際化推進室ホームページのご案内】

- 本学ホームページ・国際化推進室では、留学のこと、姉妹大学のことなど、さまざまな国際交流情報を紹介しています。交換留学のコーナー（留学体験談）では、現在姉妹大学へ留学中の学生から届く報告を2か月ごとに更新しています。本学学生がさまざまな国でがんばっていますので、ぜひご覧ください！



【編集・発行】 公立大学法人 山口県立大学 国際化推進室（桜翔館2階）

〒753-8502 山口県山口市桜島3-2-1

TEL/FAX 083-928-3413 E-mail kokusaika@yamaguchi-pu.ac.jp URL <http://www.ypu.jp/>